

令和4年度LINE相談「ひとりで悩まないで@長野」の実施について

心の支援課

1 事業目的

不安や悩みを抱える中学生・高校生の「相談したい気持ち」に応えるため、LINEを活用した相談窓口を開設する。

2 事業内容

委託業者 : トランス・コスモス株式会社/関西カウンセリングセンター

開設期間 : 令和4年4月1日(金)から令和5年3月31日(金)までの毎週水曜日および次の期間の日曜日(4/10~5/1、7・8・9・1月)
※7・8・9月の毎週水曜日は地元大学生等が相談対応する「ピア・デイ」

受付時間 : 18時から21時(相談終了21時30分)
※ただし、ピア・デイ期間中は18時から20時(相談終了20時30分)

対象者 : 県内の中学生、高校生等 約12万人
(新年度に合わせQRコードを記した周知カードを学校へ送付)

相談員 : 相談責任者1席 相談員3席

【令和4年度実施のポイント】

引き続き、中学生・高校生の「相談したい」という気持ちに応えられるよう、常設化を定着させ、あらたに長期休業前後の日曜日にも窓口を開設する。また、「学校生活相談センター」の電話相談や文書相談などと連携し、生徒が相談しやすい相談体制の構築を目指す。

- 引き続き、通年で毎週水曜日に開設
- 窓口がさらに利用しやすくなるよう、日曜日も開設。開設日は生徒の不安が生じやすい長期休業前後の4/10~5/1、7・8・9・1月の毎週日曜日
- 7・8・9月の水曜日は、地元の大学生等が対応する「ピア・デイ」を設定。中学生・高校生と年齢の近い学生が相談対応するよさを活かした取組
- 相談のタイミングが合わない場合でも相談員から話しかけをすることや「学校生活相談センター」の電話相談、文書相談を案内

参考：令和3年度の実績 ※相談対応件数 749件 (68日間)

【成果】

- 通年で毎週1回の相談窓口を常設化したことで、深刻な悩みにも継続して相談ができた。不安を抱え相談した生徒たちの多くが「話せてよかったです」「また相談してもいいですか」などの前向きな言葉で相談を終了しており、生徒の安心感につなげることができた。
- 「友人関係」や「心身の健康・保健」に関する相談が多く寄せられ、友だち登録者を対象としたアンケートの結果、利用したことがあると回答した生徒のうち86.4%は「よかった」「まあよかった」と回答しており、利用者の満足度が高いことがうかがえる。

【課題】

- ◇友だち登録者を対象としたアンケートの結果、休日に相談したいというニーズが多く、相談者が利用しやすい開設日をさらに増やしていく必要がある。
- ◇席数に限りがあり、相談者が相談したいタイミングと相談員の応答に時差が生じるため、結果とし無応答が多くなる。